

2029年度医学部一般選抜の数学における出題範囲の変更について（予告）

医学部の一般選抜における試験教科・科目のうち、数学の出題範囲を以下のように変更いたします。

変更前	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C ただし、数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」、数学Cからは 「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。
変更後 2029年度一般選抜 (2029年2月実施) から	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C ただし、数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、 <u>「数学と人間の活動」のうち「整数の性質」に関する部分</u> 、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」、数学Cからは 「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。

<変更点と趣旨>

「数学と人間の活動」のうち「整数の性質」に関する内容を出題範囲に追加します。「整数の性質」は他の数学分野と密接に関係しており、近年重要性が一層高まっている情報科学においても基盤的な役割を担っています。

複合的な数学の問題に対応する力を養うため、「整数の性質」に関する理解を重視します。

<本件に関する問合せ先>

慶應義塾大学入学センター

電話：03-5427-1566

Email: admissions@info.keio.ac.jp